

1 / 6

A 語句の意味と読み (1～7)

- (1) ①の「寡人」の読みを歴史的仮名遣いのひらがなで書き、だれのことか答えよ。
- (2) ④の「栗」の読みを歴史的仮名遣いのひらがなで書き、ここでの意味も書け。
- (3) ⑤の「用心」のここでの意味を書け。
- (4) ⑦の「請ふ」の読みを歴史的仮名遣いのひらがなで書き、ここでの意味も書け。
- (5) ⑧の「填然」とは、どのような様子を表す語か。
- (6) ⑨の「走る」のここでの意味を書け。
- (7) ⑫の「何如」の読みを歴史的仮名遣いのひらがなで書き、ここではどのようなことを問う言い方か答えよ。

B 句法 (8～13)

- (8) ②の「のみ」は、原文「盡心焉耳矣」のどの三字を読んだものか。漢字で書け。
- (9) ③の「なれば」の「ば」は何形に接続し、どのような意味を表すか。
- (10) ⑩「或いは、或いは」は、どのような言い方か。意味とともに書け。
- (11) ⑪の「笑はば」の「ば」は何形に接続し、どのような意味を表すか。
- (12) ⑬の「直だゝのみ」の句法名と意味を書け。
- (13) ⑮の「無かれ」の句法名と意味を書け。

C 指す内容・主語 (14、17)

(14) ⑧の「之を鼓し」の「之」は何を指すか。

(15) ⑬・⑭を含む「不可なり。直だ百歩ならざるのみ。是れも亦走るなり。」は、だれの発言か。そう判断できる理由も書け。

(16) ⑭の「是れ」は具体的に何を指すか。

(17) ⑮の「此」は、どのようなことを指すか。

D 口語訳 (18、21)

(18) ①・②「寡人の国に於けるや、心を尽くすのみ」を口語訳せよ。

(19) ⑤「寡人の用心するがごとき者無し」を口語訳せよ。

(20) ⑪・⑫「五十歩を以て百歩を笑はば、則ち何如」を口語訳せよ。

(21) ⑮「王如し此を知らば、則ち民の鄰国より多きを望むこと無かれ」を口語訳せよ。

E 内容・記述 (22～25)

(22) ④「其の粟を河内に移す」とあるが、恵王はこれとあわせてどのような政治をしていると述べ、それを自分の政治が隣国よりすぐれている根拠としているか。本文にそくして二つ書け。

(23) ⑥「鄰国の民は少なきを加へず、寡人の民は多きを加へざるは、何ぞや」とあるが、恵王は孟子にどのようなことを尋ねているのか。説明せよ。

(24) ⑨「甲を棄て兵を曳きて走る」とあるが、「甲を棄て」「兵を曳きて」という描写から、この兵たちのどのような様子が読み取れるか。説明せよ。

(25) ⑪・⑭をふまえて、孟子はこのたとえで恵王のどのような点を指摘しようとしたのか。「たとえと政治の対応」と「恵王の姿勢」の二点にふれて、八十字程度で説明せよ。

F 文学史・故事・思想 (26～28)

(26) この話の出典(書名)と、孟子が教えを受け継いだ思想家の名を書け。

(27) 孟子が唱えた、人の本性はもと善であるとする考え方を漢字三字で書け。また、孟子が理想とした、徳によって民を治める政治を漢字二字で書け。

(28) 「五十歩百歩」は、現在どのような意味で使われるか。また、これと最も近い意味の四字熟語を一つ書け。

【テスト直前チェック】この三つ ①「走る」は「にげる」。漢文の「走」は現代語の「走る」ではありません。⑨「甲を棄て兵を曳きて走る」は、よろいを脱ぎ捨て武器を引きずって逃げ出す場面です。②「ば」は直前が未然形か已然形かで意味が変わります。⑪「笑はば」は未然形+ばで「もし～たら」(仮定)、③「凶なれば」は已然形+ばで「～すると」(確定・恒常)。この二つを並べて確認しておきましょう。③結論は⑮「民の鄰国より多きを望むこと無かれ」。「無かれ」は禁止です。記述問題の答えは「わずかな善政の差はあっても、王道という根本がなければ隣国と同じ」という一点に集まります。